

事務事業評価シート

(H.29)No.	1107	(H.28)No.	1107
-----------	------	-----------	------

事務事業名	鳥獣害防止事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	340504
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	林業振興対策費	
項 林業費	(小事業名)	
目 林業振興費	鳥獣害防止事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活かに満ちて暮らせるまち
	基本施策	2	いきいきと働けるまちづくり
	施策	1	雇用創出
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)		
サル、シカ、イノシシ等の野生鳥獣による農林作物被害を防止する。特に被害が大きい中山間地での耕作意欲衰退を最小限に食い止め、集落機能の維持、農地の多面的機能発揮に努める。		
事業内容		
宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会において、両市が連携し、的確な鳥獣害防止対策を実施する。 また、有害鳥獣の被害防止のため、被害地区と猟友会ほか関係機関との連携を図り、効果的な防除及び捕獲を行う。		

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
		宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会負担金 1,200千円	宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会負担金 5,070千円	メスジカ捕獲報償金及びアライグマ・ヌートリア捕獲報償金 650千円	ニホンジカの個体数増加を防ぐためメスジカ捕獲促進を図る捕獲報償金及びアライグマ・ヌートリアの捕獲促進を図る捕獲報償金 650千円	宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会・事務局事務、メスジカ捕獲促進他	宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会負担金、メスジカ捕獲促進等
	止め刺し業務実施に係る保険料 7千円	止め刺し業務実施に係る保険料 10千円	消耗品費 126千円	消耗品費 133千円			
	使用料及び貸借料 120千円	使用料及び貸借料 120千円	ふるさと納税による事業補助金 100千円				
	獣害柵設置委託料 1,200千円						

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		3,403千円		5,983千円	5,983千円	5,983千円	5,983千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他(基金繰入金)		100		1,000		
	一般財源	0	3,303	0	4,983	5,983	5,983
人工数	職員		0.09人	0.16人	0.70人	0.70人	0.70人
	臨時職員等		0.00人	0.00人	0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	0千円	675千円	0千円	1,200千円	5,267千円	5,267千円	5,267千円
①+②総事業費	0千円	4,078千円	0千円	7,183千円	11,250千円	11,250千円	11,250千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ等の有害鳥獣の個体数の増加に伴う農林業被害の拡大が懸念されている。有害鳥獣の捕獲により、農業を取り巻く環境の改善に貢献した。猟友会のみならず、地元住民等との連携により、効果的な追払いを行っている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
捕獲報奨金の支出による捕獲意欲の向上を図り、個体数調整を推進する必要がある。ニホンジカやイノシシの個体数調整(削減)は緊急の課題であり、国の要綱に基づき推進する。また、三重県の事業見直しにより平成29年度から補助内容が変更されたことに伴い、県単有害鳥獣捕獲緊急対策事業を統合し、「宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会」への負担金を拡充することで、引き続き捕獲を推進する。	
	宇陀・名張地域鳥獣保護管理計画(ニホンザル) 名張市鳥獣被害防止計画